

以下は、2023 年度に東アジア圏へ長期留学した学生による留学関連情報と最終報告書です。番号①-②：静宜大学 ③-④：釜慶大大学校

⑤-⑩：韓国カトリック大大学校 ⑪-⑬：誠信女子大大学校

①

留学先	台湾・静宜大学
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	3年生
派遣先での受講した授業と時期	<p>■語学センターの授業</p> <p>→■秋学期（9月上旬～2月中旬）</p> <p>■春学期（3月上旬～5月中旬）</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■秋学期（9月上旬～1月上旬）</p> <p>■春学期（2月下旬～6月中旬）</p> <p>→■現地学生メインの授業</p> <p>■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： 含まれない。食事提供制度もなし。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数： 1人部屋のためルームメイトなし。</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 1学期分（水道代含）を前払いNTD18,000。退寮日または前日に光熱費を支払う。</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 夏休みは滞在していないため分からない。 冬休みは出来る期間もあるが、一定期間（2週間ほど）完全に寮が閉鎖するためその期間のみ別の寮に移るか自分で部屋を借りるなどしなければならない。旅行に行くのも良。また、長期休みの期間寮に滞在する場合別途追加料金を払う必要有。そして長期休み期間は寮滞在人数が少ないため電気代が通常より少し高くなる。</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入</p> <p>→金額など詳細：日本からSIMフリー端末を持っていき桃園空港到着後すぐにSIMカードを購入。期限切れで新たに買う場合は町の通信会社で買うのが良。私も含め留学生は皆使い放題のSIMカードを使っていた。期間にもよるが180日使い放題でNTD3500ほどで購入可能（電話可能かはプランによる）。通信会社は中華電信が一番有名で私もそれを使用していた。</p>
現地での資金調達は どうしていたか	<p>日本でソニー銀行のクレジットカードを作って持っていった。VISA対応ATMならキャッシングで引き出せるためコンビニのATMで毎回引き出していた。ただ毎回手数料がかかるため</p>

	一度に引き出せる最高金額（NTD20, 000）を一気に引き出していた。
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	特になし
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	台湾は安全だと思われている方も多いと思いますが、日本に比べれば危険は多いです。特に気を付けてほしいのが車やバイクなどです。特にバイクは急に出てくるのがとても多いです。バイク大国のためしょうがないですが、自分の身は自分で守りましょう。また、語学力はある程度つけてから行った方が確実に留学生活を楽しめます。中国語は英語の様に普段聞き馴染みがない人が多いはずですが。そのため少しでも中国語に耳を慣らしておくのを勧めします。

留学最終報告書

私は2022年8月～2023年5月まで台湾の静宜大学に交換留学に行きました。2022年8月～2023年2月まではコロナの影響により交換留学制度が再開されていなかったため Fee Paying(授業料を払う)の語学研修の生徒として在籍していました。静宜大学はグローバル化に力を入れている学校で、英語はもちろん日本語やスペイン語がとても上手な学生がたくさん在籍していました。

中国語のクラスは最初にテストを受け、自分のレベルに合ったクラスに振り分けられます。この時にクラスが自分に合わないと思った場合は中国語センターに伝えれば変更することが出来ます。ただ一定の期間が過ぎてしまうと変更が出来なくなってしまうので早めに変更することをお勧めします。授業内容は先生によって違いますが私の先生は教科書に沿って単語や文法を勉強するという感じでした。また別の先生は教科書を全く使わなかったり、毎週プレゼンテーションを発表するという先生もいたようです。授業を通して教科書に載っている単語や文法だけでなくスラングや台湾でしか使わない中国語なども沢山学ぶことが出来ました。グループワークなども多く、その時にクラスメイトと会話をする事で先生以外の中国語に触れることも出来ます。学期末には各クラスから1人が選ばれ大教室でプレゼンテーションを発表します。そこでも自分のクラスメイト以外の中国語を聞く機会がありました。

本科の授業では日本語学科の授業を2つ取っていました。1つは日本語の新聞の読み取り、もう1つは日中通訳の授業です。びっくりしたことは学生が皆日本語がとても上手なことです。聞くと高校生の頃から勉強している人が多く、また日本の文化であるアニメやアイドルなどに興味があり日常的に日本語に触れている学生が多かった印象です。通訳の授業はとてもレベルが高く、学生も4年生が殆どだったため日本語能力が素晴らしかったです。通訳の授業のため専門用語などが多く、私はついて行くのに必死でしたが語彙力が増えとても身になった授業だったと感じます。

私は学校の寮に住んでいたのですが、留学を終えて思ったことは寮ではなく外に部屋を借りた方が良かったと思いました。私が住んでいた寮は1人部屋か2人部屋を選ぶことが出来、私は1人部屋を選びました。長期休みは一定期間寮が閉鎖してしまうので、短期で部屋を探すのが大変でした。ただ他の寮に長期休み期間だけ移動することも可能です。その際は別途お金を払う必要があります。この様な移動しなければいけない話などは聞かされていなかったので戸惑いました。外のアパートを調べてみると寮費とあまり変わらない家賃のところも沢山あるため、寮ではなく外のアパートに住むという選択肢もあったと思いました。ただ寮の周りにはたくさんの飲食店があったため日用品の買い物や食事には困りませんでした。

台湾留学を通し言語だけでなく台湾文化や他国の文化も同時に学ぶことが出来ました。コロナ禍という事もあり最初は不安でいっぱいでしたが、そんな大変な状況だったからこそ学べるものは多かったと感じます。また友達作りや人と会話したりすることは私の性格上得意ではないのですが、思い切って話しかけてみるとほとんどの人が快く会話を続けてくれることが多かったです。この様なことは留学を経験して得られた物で、留学を経験していなければ前の私と変わっていなかったと思います。これらの経験は今後の私の人生を助けてくれると思います。これからも何事にもまじめに取り組み台湾留学で得た物を忘れずにしていきたいと思います。

留学先	台湾・静宜大学
留学期間（半年/1年）	半年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期	<p>■語学センターの授業 →秋学期（9月11日～12月29日）</p> <p>■学部の授業 →秋学期（9月11日～1月12日） →■現地学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮 →寮費に食事が含まれるか： なし</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数： 4人部屋。ルームメイトは全員台湾人。</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 一学期分をまとめて支払う。インターネット代、水道光熱費込みで16,250元（74,750円）。寮費のほかにレクリエーション施設使用料、学生活動費、健康診断費用もまとめて支払う。合計20,908元（約96,300円）</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 申請し、滞在費を払えば滞在できる。しかし、長期休暇中キャンパス内のコンビニや食堂は休業している。</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入 →金額など詳細：SIMカードは学内の本屋で購入可能。 180日で3,200元（14,700円）。</p>
現地での資金調達はどのようにしていたか	<p>デビットカード(SBI)を作り、親から口座にお金を振り込んでもらっていた。手数料がかかるため、1か月分の生活費を一回で引きだしていた。</p>
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	<p>特になし</p>
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	<p>ある程度中国語や英語での会話はできていたほうが良いと思います。静宜大学はいろいろな国からの留学生が多く、現地の学生もほとんどの人が英語を話せます。説明などはすべて英語でされました。</p> <p>また、悔いのない留学期間を送るために、どんなに小さなことでも目標を決めることが大切だと思います。一つ一つ実行していくことで経験値が上がり、成長へとつながります。</p> <p>不安もあると思いますが、一歩踏み出してチャレンジすることで自分の可能性を広げることができると思います。</p>

留学最終報告書: 留学を振り返って

私は9月からの半年間、台湾の台中にある静宜大学に留学しました。静宜大学はさまざまな国からの留学生が多く、国際交流が活発でした。日本をはじめ、中国、香港、フィリピン、ベトナム、タイ、インド、南アフリカ、スペイン、イタリア、ドイツなど、多くの学生が在籍しており、台湾だけではなくいろいろな文化に触れることができました。この留学を通して得られたことが3つあります。

1つ目は語学力を上げることができた点です。静宜大学では中国語以外に英語も鍛えられます。中国語の授業は主に英語で行われます。中国語のクラスはレベル別に分けられ、自分に合ったレベルの授業を受けることができました。私のクラスは11人の少人数クラスで、小さな教室で円になって授業を受けました。わからないところがあればすぐに先生やクラスメイトに質問することができ、置いていかれることなく楽しみながら中国語を学ぶことができました。毎日朝9時から3時間あり、授業の終わりには必ず単語テストがありました。大きなテストは計3回受け、授業内で新しく習った単語で例文を作ったり、週末明けには一人ずつどこに行ったかなどのスピーチをしたりなど、バランスの取れた授業でした。毎日の中国語の授業のおかげで店の看板やメニューを読めるようになったり、相手の言っていることを理解できるようになったりなど、自分の中国語力が向上しているのが日常生活の中で多々感じられるようになりました。自分の努力の成果を感じると同時に、新たなスキルを身につけた達成感を得ることができました。中国語の授業のほかに「日本商務文化禮儀」の授業と「経貿日文」の2つの日本のビジネスマナーの授業を選択しました。この2つの授業は、台湾人のグループに日本人の学生1人を入れたグループで授業を行います。日本人が教える立場となりわかりやすく説明することができず苦戦することもありました。

2つ目は日本と台湾の言葉の文化の違いを学びました。特に私が印象に残っている言葉は「は？」という言葉です。日本では相手に不満があるときに使う言葉で、あまり使わないほうがいい言葉とされています。ですが台湾では相手の言葉が聞き取れない、意味がわかりづらかった場合に「は？」と使います。私も実際に台湾人に「は？」と言われたことがあり、最初のころはとても怖かったです。台湾の文化や言語を身近に感じることで、新しい理解や気付きを得ることができました。

3つ目は思いやりの心を持つことの大切さを学びました。私が大きな荷物を持ってバスに乗ろうとしたとき、バスの運転手さんがわざわざ降りてきて私の荷物をバスの中に入れてくれました。乗り換えが必要だったため、途中で降りなければならなかった時も、降りるバス停は伝えていなかったのですが私が降りようとしていることに気付き、荷物をバスから降ろしてくれました。私が感謝の気持ちを伝えると、ただ笑顔で一言だけ「不會」といい、すぐ運転席に戻っていきました。この「不會」には「何も感謝されるようなことはしていません」という意味があり、台湾人の優しさに触れ、一生忘れることができない出来事になりました。すぐに行動でき、他人を思いやれるあの運転手さんは本当に素敵な人だと思いました。私もあの運転手さんのように困っている人を見かけたらすぐに手を差し伸べられるような人になりたいと強く思いました。

私が家族と離れ海外で生活していくのは不安で勇気のいることでしたが、周りの優しい人たちに囲まれてとても有意義な楽しい留学期間を送ることができました。この留学は私の人生にとって大きな意義を持ち、語学の習得だけではなく、異文化理解や自己成長の機会となりました。留学で得た知識と経験をこれからの生活や就職活動、社会に出たときに活かしていきたいと思えます。

留学先	韓国・釜慶大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	3年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（釜慶大学校は学部の授業は必須だが、語学堂はターム問わずオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■春ターム（2023/3～2023/5）：600000w</p> <p>■夏ターム（2023/6～2023/8）：600000w</p> <p>■秋ターム（2023/9～2023/11）：600000w</p> <p>■冬ターム（2023/12～2024/2）：600000w</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■春学期（2023/3～2023/6）</p> <p>■秋学期（2023/9～2023/12）</p> <p>→■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： 含まれる。食事形態によって金額が変わる。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数： 基本二人部屋、同じ国籍同士</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 月 350000w～450000w</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 申請すれば可能</p>
スマホ・携帯電話は どうしていたか	<p>日本から SIM フリー端末を用意して現地で SIM カードを購入</p> <p>→金額など詳細： 日本で契約したものをずっと使っていた。 月 6000 円ほど</p>
現地での資金調達は どうしていたか	<p>日本で楽天デビットカードを作り、家族にそのカードに日本円を入れてもらい、韓国の銀行で引き落とす。一番手数料が安いのは国民銀行。それを韓国で作った口座に移して使っていた。韓国の口座ができるまではワウパスという誰でも作れるデビットカードを作って過ごしていた。思ったよりカード社会なのでカードは必須だった。</p>
現地で困ったので日本 で準備した方が良かったこと	<p>お金の引き落とし方法をもっと調べるべきだった。韓国到着2日後に現金を引き落とそうと ATM に行ったが、インターネットに書いてあるところでは引き落とせなかったのが大変だった。</p>

留学を考えている後輩 へ伝えたいこと	ルームメイトとの仲には気を付けたほうがいいです。深く関わりすぎるのも良くないし、逆にあまり関わらなさ過ぎても居心地が悪くなります。語学力を伸ばすには現地の人と話すのが一番です。間違ってもいいから話し続けたら語学力が伸びます。頼れる同国籍の友人を作ってください。自分より語学力が上の友人だとなお良いです。緊急時に協力出来ます。金銭面で我慢することがないようにお金は余裕を持って用意したほうが良いです。
-----------------------	---

留学最終報告書

私は2023年3月から2024年2月までの約1年間、韓国釜山の釜慶大学校に留学しました。コロナウイルスの規制もかなり少なくなっていて、絶好の留学チャンスでした。基本的には語学堂で韓国語の授業を受け、週2回程度学部の授業を受けるというスケジュールでした。語学堂や語学学習を通しての一番の成長は、語学力向上のための努力を惜しまなくなったという点です。日本での授業の時はかなり消極的で、手を挙げて発言したのは小学生の低学年のころまでだったと思う程です。そんな私でも語学堂の授業中は少しでも多くのことを学びたい、いろいろなことに挑戦して吸収して語学力を伸ばしたいと思い、1日1回は必ず自ら発言しようと決めました。それからは回答に自信があるときはもちろん、曖昧な時でもとりあえず自分の考えを自分の言葉で発言するようになりました。授業中に先生とコミュニケーションを取りやすくするため、毎日一番前の真ん中の席に座り、休み時間も積極的に先生と会話をし、楽しみました。寮に戻ってからの学習ももちろん欠かしませんでした。春学期に決めた目標の1日1発言は冬学期まで継続することができました。こうして目標を楽しみながら継続できた理由としては、毎日少しずつ自分の語学力が伸びていくことを実感していたからです。この努力を通じて TOPIK5級取得という目標も達成することができました。これからも必要となる努力の仕方、楽しみ方を学びながら大きく成長出来ました。

私の人間としての成長は、予定や見通しを立てながら行動できるようになったという点です。留学前に母から海外では予想外のトラブルがつきものだ、と言われましたがその通り到着2日目からトラブルが起きました。準備を十分にしていなかった私はどうすることもできず、ただ焦って親に頼ることしかできませんでした。その時から、留学をするということは予想外のことがいつ起こってもいいように準備しながら生活しなければならないと感じ、用心深く何でも対処できるように考えるようになりました。勉強するときも、遊ぶ時も、予定や案を2つ3つ考えておくと時間を無駄にせず効率よく行動できると気づき実践するようになりました。この考え方のおかげでとても充実した留学生活を送れました。

ここまででも十分なほど嬉しく楽しく充実した留学生活でしたが、さらに忘れられない素敵な思い出が3つあります。1つ目は何度も韓国人に間違われたことです。そのうちの1回は地下鉄での出来事でした。ひとりで出かけるために地下鉄に乗っていたら横に座っていたおばあちゃんが携帯電話の操作方法について尋ねてきました。一通り説明しおわると今度は目的地までの道を尋ねてきました。そこは私も生きなれた場所ではなかったため一緒に地図を見ながら、日本人なのでこの土地にまだ詳しくない旨を伝えたところ、とても驚いた表情で、韓国語がとても上手だから今まで韓国人だと思って話していたよ、若いのに留学なんてとてもかっこいいね、などと笑顔で言ってくれました。私の目的地まで留学や日本についてたくさんお話をすることもできました。現地の人に韓国人だと思ったと言われるほど自信になる言葉はありません。このおばあちゃんだけではなく何回も聞いたこの言葉が勉強のモチベーションになったと言っても過言ではありません。

2つ目の出来事は旅行をたくさんできたことです。夏学期の終わりを境に釜山の外に出て旅行をするようになりました。釜山の町並みでさえ新鮮で毎日楽しかったのに、旅行は毎日の倍楽しくワクワクしました。そこでしか見られない景色や、そこでしか食べられないご飯を思いっきり楽しみ

ました。初めはひとりで旅行しようと思っていましたが、一緒に行こうと言ってくれる友人ができたことも楽しかったポイントのひとつです。

最後 3 つ目は、人生の友人ができたことです。語学堂春学期に会った4つ年上のミャンマー人です。私の帰国の日までほとんどずっと一緒にいました。一緒にご飯を食べて、同じクラスで授業を受けて、放課後には一緒に出掛けて、休みの期間には旅行にも行きました。よきライバルとしてお互い韓国語の勉強に励んだりもしました。年も離れているし、性格も正反対でしたが、お互いを補い合えるような仲でした。お互いの親とも何度もテレビ電話もして、たった1年でまるで家族のような仲にまでなりました。同じ時期に同じところに留学して出会えたことが奇跡で、とても嬉しいです。

ここまで書いてきたことは、留学をしなければ決して体験できなかった出来事です。私の人生の中でこれまでも、きっとこれからも、一番の思い出として記憶に残るであろう留学生活でした。

留学先	韓国・釜慶大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（釜慶大学校は学部の授業は必須だが、語学堂はターム問わずオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■春ターム（3月2日～5月12日）：約6万円</p> <p>■夏ターム（6月1日～8月10日）：約6万円</p> <p>■秋ターム（9月1日～11月15日）：約6万円</p> <p>■冬ターム（12月1日～2月8日）：約6万円</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■春学期（3月～6月）</p> <p>■秋学期（9月～12月）</p> <p>→■現地学生メインの授業</p> <p>■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： 含まれる(3食提供) 秋夕や旧正月、短期限定開館の時は食事提供なし</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：日本人1人</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 1学期（3ヶ月）約16万円 夏休みと冬休みは約7～8万円ずつ 短期限定開館（2週間）約1万円</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 自分で寮申請をして寮費を払えば滞在可能</p>
スマホ・携帯電話は どうしていたか	<p>日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入</p> <p>→金額など詳細： 1か月のSIMカードを買って月ごと延長していた（無制限で月5990円）</p>
現地での資金調達は どうしていたか	日本でデビットカードを作り、親に送金してもらっていた。
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	<p>韓国の薬は強くて合わないこともあるので多めに持って行く。</p> <p>韓国の銀行は1日に引き出せる金額が決まっているので語学堂費と1学期の寮費は日本で予め換金して持って行く。</p>

	韓国の携帯番号を使う場面が沢山あるのでポケット Wi-Fi ではなく SIM カードを買う。
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	日常会話程度の韓国語はできていた方がいいと思います。大学の授業では、韓国人とグループワークをやったり、語学堂では全部韓国語で授業をするためある程度の語学力は必要。

留学最終報告書:1年間の釜慶大学交換留学を振り返って

私は2023年2月末から韓国の釜慶大学に1年間の交換留学に行ってきました。たくさんのお会いも学びもあり人として成長させてくれたとても良い経験ができたと感じます。まず私自身、韓国に行くこと自体初めてだったため行く前は不安でいっぱいでした。留学初日は、留学と一緒にいった先輩やピックアップで案内して下さった釜慶大学の在學生の方に助けられながら無事入寮することができました。その在學生の方に履修登録など授業に関することを沢山教えていただき、3月2日から大学の授業と語学堂が始まりました。

まず、前期の大学の授業では「日本を読む」という授業を履修しました。この授業は日本の小説を使って授業をするのですが、授業にいたほとんどが韓国人のため授業は全部韓国語でした。まだ韓国語で会話するのが困難な時だったためとても難しかったです。小説の内容が明治以降の歴史についての内容で、前もって寮で小説を翻訳して、授業では小説の文を読んでそのあとに韓国語で翻訳したのを読んで章が終わったら先生が韓国語で解説するという授業でした。翻訳したのを誰が読むかは毎回先生がランダムで当て、どこまで進むかわからなかったので前もって沢山翻訳しました。小説に書かれている言葉の中には翻訳困難な昔の言葉が沢山あって難しかったです。韓国人の學生に助けをもらいながら完成させました。テストは記述だったのでとても難しかったです。最後の成績が良かったので安心しました。

後期では「中級日本語会話」という授業をとりました。この授業は全部日本語の授業でした。毎回教科書に沿ってテーマを決めて韓国人の在學生とグループワークをしてグループごとに発表するという内容でした。グループは何回かメンバーが変わったのでたくさんの方と交流することができました。中間テストが終わったあとに日本の旅行をテーマにプレゼンテーションをしました。私は山形に二泊三日の設定でプレゼンテーションをしました。千と千尋の神隠しで有名な銀山温泉や山形牛のことなど同じ東北の山形の魅力をたくさん伝えることができてとても良い機会でした。韓国人から最後にフィードバックをもらうのですが、沢山の方が山形に行ってみたくてくれたので嬉しかったです。

語学堂は2級から5級まで通いました。最初は自分の語学力がなく意思疎通もできないことが多かったのですが、授業を受ける度に語学力が身につけて自分に自信を持つことができました。級が変わるごとにクラスメイトも変わるので、沢山の外国人と交流することができました。授業の時に国別で比較するときが多々ありましたが、そのたびに「国ごとでこんなにも文化の差があるのか」「考え方もこんなに違うのか」を知ることができて、とても良い異文化交流でした。私が留学を選んだのも、他の国の人たちと交流しながらたくさん国の文化を知り、理解することでした。その目標が達成できてよかったです。そして、語学堂は15人ほどの少人数のクラスで構成されているため、積極的に発言することが苦手だった私でも失敗を恐れず発言することができました。勉強を持続的にするのが苦手でしたが、2週間に1回テストがあったので、勉強するのが習慣になりました。このように苦手だったことをたくさん克服できて自分を見直すきっかけにもなりました。

授業以外では後期の間、旅行サークルに加入しました。活動自体は1か月に1,2回ほどしかありませんでしたが、その活動ごとに濃い時間を過ごしました。私が特に思い出に残っているのが1泊

2 日の巨済島の旅行に行ったことです。班ごとに分かれて観光地を回ったのですが、班のほとんどが前の活動にいなかった方ばかりで初対面だったため人見知りしていました。ですが、頑張ってお話しかけてたくさんの友達を作ることができました。夜には、ゲームをしたり、海に行ったり、花火をしたり、BBQ をしたりたくさんの思い出を作ることができました。旅行の終わりに一人一人にメッセージを書いたのですが、日本に興味を持っている方ばかりだったのでとても嬉しかったです。サークルの活動が終わっても休みの期間中に遊びに出かけたりして、沢山の韓国人と仲良くなりました。

留学する前は「韓国語が完璧にできるわけではないのにたくさんの外国人や韓国人と交流することができるのか？」と不安に思っていました。だからこそ、習った単語や文法を復習したりして勉強することを習慣にしたり、韓国人との交流も大切にしてネイティブの韓国語を耳に慣らしながら自分の語学力アップに努めてきました。意思疎通するにはこんなにも努力が必要なんだと改めて知ることができました。語学堂ではたくさんの外国人がいたため、沢山の言語が聞こえてきました。韓国語では理解できるのに、その人が母国語で喋っているときは理解することができなく、まだ私が知らない世界がたくさんあるのだと感じました。言葉が通じるということは当たり前のように思えて当たり前ではないと知ることができました。韓国語のみならず他の言語も勉強したいという意欲が芽生えました。留学を通して得たものをこれからに活かしてもっと成長していきたいです。

留学先	韓国・韓国カトリック大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（カトリック大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■秋ターム（9月～11月下旬）： ■冬ターム（12月～2月中旬）：KRW1,015,000</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■秋学期（8月29日～12月15日） ■春学期（3月2日～6月22日）</p> <p>→■現地学生メインの授業 ■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： 含まれない。 共有キッチンがあったが、予約制で一度も利用しなかった。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数： 前期→4人部屋で日本人3人 後期→2人部屋で台湾人1人</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 4人部屋6ヶ月：約11万円 2人部屋6ヶ月：約18万円</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 最初に4ヶ月か6ヶ月を選べて6ヶ月だと滞在可能</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入 →金額など詳細：1年で約10万円
現地での資金調達は どうしていたか	日本でデビットカードを作り毎月決まった金額を振り込んでもらっていた。
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	必要なものは基本現地で揃いますが、普段から内服している薬があれば持参した方がいいと思います。
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	留学前にできるだけ韓国語を勉強してください。また、どのような留学生活を送りたいか、明確な目標をもっていくことをおすすめします。事前に目標を設定することによって、後悔のない留学生活を送れると思います。

留学最終報告書

私は2022年の8月末から1年間韓国のカトリック大学校に留学しました。私にとっては初めての海外で不安がとて大きかったです。特に私たちが行った時期はコロナが流行っていたので、入国する前にも色々な申請をしたり現地に着いてからも保健所に行き検査をしたりなど、日本語が一切通じない環境で初めから苦労することが多かったのです。着いて次の日にはオリエンテーションがありカトリック大学や語学堂についての説明を受け、本格的に留学生活がスタートしました。まずは語学堂についてです。初めにテストを受けてから自分のレベルにあったクラスに割り当てられそれぞれのレベルで韓国語を学んでいきます。韓国語を学ぶために語学堂に通っていましたが、それ以上のものを得られたと思います。なによりも他国の友達が沢山できたことが私にとってはとても良い経験になりました。ネイティブと話す時は「間違えていたらどうしよう、間違えていたら恥ずかしい」そんな考えで頭がいっぱいで初めの頃は韓国人と積極的に話せませんでした。そんな時に自信を持って話せるのが語学堂の友達でした。間違えた時もみんな責めることはせず笑いに変わってくれたり優しく教えてくれたり、間違いは恥ずかしいことじゃないと学ぶことができました。同じぐらいの韓国語レベルなことや皆が韓国語を学びに来ているという点から失敗を恐れずに韓国語を使うことができる良い環境だったと思います。私のクラスにはベトナム、台湾、中国、ミャンマー、ウズベキスタンの方がいました。そのおかげで様々な国の国民性や文化や習慣、価値観を学ぶことが出来ました。日本のアニメや音楽などの文化に関心を持っていてくれる方が多く、日本を好きだと言ってくれたことがとても嬉しかったです。私は英語が苦手なため、韓国語がわからないとコミュニケーションができませんでした。そこで意思疎通をする上での共通言語の大切さを学びました。そして他国の友人と話していると私の知らない世界を沢山知ることができました。次に大学です。海外の大学に通うという留学をしないとできない貴重な体験をすることができてとても充実した大学生活だったと思います。私は日本語作文と日本語会話の授業と韓国語の授業をとりました。日本語作文の授業では現地の学生が作文を書き、日本人の私達はそれを添削するということをしました。韓国人に日本語を教えることで私自身も改めて日本語を学ぶことが出来ました。日本語会話の授業は日本語でその日のテーマについてグループになって話しました。しかしいくら日本語の会話の授業で日本語が話せる方が多いとはいえそれに甘えてはダメだと思い、日本語が話せる友人と遊ぶ時でもなるべく韓国語を使って会話をするようにしてお互いの言語を教え合いました。ネイティブの方に教えてもらうことで、日本では学べない現地の表現や話し言葉を学ぶことができました。大学も語学堂同様に日本を好き方が多く、沢山話しかけてくれたおかげで楽しく過ごすことができ充実した大学生活になりました。

1年間の留学生活を振り返ってみて、初めての海外生活だったが充実した1年を過ごすことができたのは、多くの支えがあったからこそだと思います。そして沢山色々なことを経験し成長することができました。留学で学んだことを忘れずにこれから活かしていきたいです。

留学先	韓国・韓国カトリック大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（カトリック大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■秋ターム（9月上旬～11月中旬）</p> <p>■春ターム（3月上旬～5月上旬）</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■秋学期（8月下旬～12月上旬）</p> <p>■春学期（3月上旬～6月下旬）</p> <p>→■現地学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： 含まれない。 そのため外食やテイクアウトして大学内で食べた。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数： フランス人のルームメイト一人・2人部屋</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費（6か月分）： 1,923,000（約192,300円だが円安の影響で日本円だともう少し高い。）</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： できる。 半年に一回寮費を払う。 大学に到着して数週間後から支払期間が始まった。 4か月か6か月を選べるため、長期期間も寮に住みたい場合は6か月を選択すれば住むことができる。</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>日本にいるときに、ネットでSIMを購入し、日本の家にSIMカードが届くため、それを持って韓国に行き韓国の空港に到着したらSIMカードを挿入する。</p> <p>→金額など詳細：5,900円（1か月）</p>
現地での資金調達はどのようにしていたか	<p>大学内にあるATMを使って現金を引き出していたが、韓国は現金は使わないところがかかなり多いため、クレジットカードと</p>

	<p>デビットカードを日本で作ってそれで支払いをしていた。大学内に銀行がありそこで簡単に韓国の口座を作ることができる。作っておくと便利。</p>
<p>現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと</p>	<p>特にない。 韓国で必要なものは全部手に入るの、お金とパスポートだけ持っていけば大丈夫。</p>
<p>留学を考えている後輩へ伝えたいこと</p>	<p>留学は新しいものを見つけさせてくれて、視野を広げさせてくれます。今留学をすべきかどうか悩んでいたら、絶対にやったほうが良いと思います。明確な夢ややりたいことがなくても、留学は素敵な経験をさせてくれます。お金など心配なことがあるかもしれませんが、それ以上に素晴らしい経験ができます。心配しすぎず挑戦してみてください!!</p> <p>留学はとても大変そうで勇気のいることと考えてしまいがちだと思いますが、とても素晴らしい経験をすることができるので、もし今留学をするかどうか迷っている場合はぜひ挑戦してみたいと思います。仙台白百合女子大学も韓国の大学もたくさんサポートしてくれるのであまり心配しなくても大丈夫です。</p>

留学最終報告書:韓国で1年間留学をして

私は2022年8月24日に日本から韓国に行きました。初めての留学、海外でした。私は小さいころから留学や海外について興味があり絶対に学生になったら留学をしようと決めていました。高校の時にしようと考えていたのですが、金銭的に厳しくその時は諦めました。大学生では絶対にしようと決めていました。そのため大学生になってから毎日留学のために勉強とアルバイトを頑張っていました。留学費用は全て自分で払うという約束を両親としたため毎日アルバイトをしてお金を貯めつつ、勉強もがんばって奨学金を受け取ることができました。最初は韓国ではなくカナダなど英語圏に行きたかったのですが、お金が足りなくて英語圏は諦めました。英語を学びたくて英語圏を希望していたのですが、英語圏でなくても英語は学べると思い、韓国を選びました。英語の他に韓国語も学んでいたため、韓国に行って韓国語と英語を同時に学べばいいと思い韓国に行くことを決めました。その自分の選択はとても良いものでした。今は英語圏の国に行かず韓国に行って本当に良かったと心の底から思っています。韓国で出会った友達、経験すべてが自分の人生を素晴らしいものにしてくれたと思います。そして留学するのなら、半年ではなく1年が良いと思います。実際に1年間韓国にいて、前期と後期は全然違う留學生活でした。場所は変わらないのですが、周りの環境や新しい友達、そして自分の経験値によってできることが増えました。そして、韓国の大学の中でも韓国カトリック大学を選んで良かったと帰国後改めて思いました。他の大学に行ったことがないため比較できないのですが、私が行った大学の学生はとても優しく面白い学生が多く、日本語や英語など多くの言語を話すことができる学生ばかりのためとても楽しかったです。そして留学生サポートも充実しています。先生も学生もみんな優しくいつも助けてくれました。大学自体も大きく、施設が充実しています。私は個人的に自然が大好きなので緑がないと落ち着かないのですが、カトリック大学内は緑に溢れていてとても環境が良いです。コンビニや小さなマートが3つあることや、学生食堂や銀行、ハンバーガー屋さんもあるためとても過ごしやすいです。大学を出てすぐに食べるところがたくさんありとても充実しています。不便なところは特になかったです。

私は韓国で日本語を使わない生活を心がけていました。まず日本人の友達とは会わないようにしたり、会っても韓国語で話したりするようにしていました。そして仲の良い外国人の友達を作り、毎日一緒にいました。そのため、語学堂や授業、韓国の友達と遊ぶときは韓国語を使い、それ以外は全て英語を使っていました。そのおかげで語学力がかなり向上したと感じます。もちろん日本人の友達も大切で日本の文化も素敵ですが、せっかく海外に来たということもあり私はそのような生活をしていました。

私は日本に帰ってきていまだに確実にこの職業に就きたいというものを見つけていないけれど、自分の可能性はかなり広がったと感じます。この経験を生かしてこれから自分の夢をみつけてそのために日々頑張っていこうと思います。

留学先	韓国・韓国カトリック大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（カトリック大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■秋ターム（9月上旬～11月上旬）： ■春ターム（3月上旬～5月上旬）： ■夏ターム（6月下旬～8月下旬）：KRW1,015,000</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■秋学期（9月上旬～11月下旬） ■春学期（3月上旬～5月下旬）</p> <p>→■現地学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか：いいえ</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：4人 日本、イラン</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 半年ごとの寮費を収めました。（11万）</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： はい(事前に申請すれば可能です)</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>現地で新たに契約・購入</p> <p>→金額など詳細：最初の1カ月は7000円 継続手続きをすれば次の月から1カ月3500円</p>
現地での資金調達は どうしていたか	<p>クレジットカード、現金が必要な際は母に日本の楽天のデビットカードにお金を振り込んでもらって学校にあるATMで現金引き出しをしていた。</p>
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	<p>頭痛薬や生理痛の薬など飲みなれた薬を持って行った方がいいと思います。</p> <p>留学先で日本のお菓子をプレゼントすると喜ばれるので良いと思います。</p>
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	<p>最初は言葉がうまく通じないこともあったりして不安だと思いますが、語学堂と大学に通っているうちに韓国語も流暢に喋れるようになるので大丈夫です。そして、語学堂に通っていると</p>

台湾や中国など色々な国の人たちと親しく接することが出来るので楽しいです。韓国の学生も留学生に優しく接してくれるのですぐに友達になれると思います。ライブなどに行ったときなどに現地の人に話しかけると、共通の趣味を持った人と友達になったりできるので積極的に話しかけて共通の趣味を持った友達を作ると良いと思います。最初は日本に帰りたと思う日もあるかもしれませんが、友達もできて留学生活に慣れてくると帰国するのが嫌になるくらい楽しい留学生活になるので心配しなくても大丈夫です！！

留学最終報告書

私は 2022 年の 9 月から 2023 年の 9 月までの約 1 年間、韓国カトリック大学に留学しました。ソウル駅からは地下鉄で 30 分ほどです。百貨店や中心街に行くには地下鉄に乗らないといけないですが、大学の周りには飲食店やコンビニ、スーパーが沢山あり、生活しやすい場所だと思います。

留学を通して韓国の学生だけではなく、多様な国の学生と交流することが出来ました。今回の留学を通して沢山学び、成長することが出来ました。

1 つ目は大学の授業を通して成長できたこと、学んだことです。春学期に受講した日本語の授業では、韓国人が日本語を勉強する際にどのようなことが難しいのかを韓国の学生とコミュニケーションをとりながら学ぶことが出来ました。また、韓国人が思う日本のイメージなどについても知ることが出来ました。秋学期に受講した翻訳の授業では、正しい翻訳とは何かについて、韓国の学生と話し合いながら考えることが出来ました。日本特有の言い回しや韓国特有の言い回しなどを翻訳するときのように翻訳すれば本来の意味と同じ意味になるかをみんなで意見を出し合いながら考えました。課題では同じ作品の韓国語版と日本版の本を読んで間違った翻訳だと思うものを見つけるという課題でした。課題を通して韓国語の本を精読する機会ができて、普段はあまり使用しない単語も知ることが出来ました。ドラマや WEB 漫画を見ているときは韓国語を理解してどのような内容の物語なのかを理解できますが、自分が翻訳するとなるととても難しく、似たような意味の言葉でも少しずつ意味が違い、どの言葉を選べばより正確な翻訳になるかなどを考えながら翻訳するのが難しかったです。翻訳の仕事や通訳の仕事に興味があったので、この授業を通してこの授業を通して翻訳について詳しく学ぶことが出来てよかったです。

2 つ目は語学堂の授業を通して成長したこと、学んだことです。語学堂の授業では、中国、ベトナム、台湾など多様な国の学生と交流することが出来ました。語学堂の授業を通して、韓国以外の文化や食べ物などについて知ることが出来て楽しかったです。また、皆の前で発表をする機会がたくさんあり、日本ではみんなの前で発表をするとき緊張して上手く話せないことが何回かありましたが、語学堂での授業を通して、皆の前でプレゼンや発表をするときに、緊張せずに相手の目を見て発表する能力が身に付きました。

3 つ目は日常生活を通して成長したこと、学んだことです。宿舎の部屋にはキッチンがない為、コンビニや外食に行くことが多かったです。日本で一人暮らしをしている時は、アルバイトや自炊もしてお金に余裕がありましたが、韓国は日本よりも物価が高く、また円安ということもありお金の管理が難しかったです。ですが、どのようにすればお金を節約できるのかを考え、家計簿もつけ、月に使う金額を決めて生活しました。週末や授業がない日は外出したりしました。韓国の学生だけでなく、中国や台湾の学生とも遊びに行きました。韓国語で友達と会話をしたときに自分の言いたいことがうまく伝わらなくて最初は悔しい時もたくさんありましたが、留学生活を送りながら自分の言いたいことを伝えることが出来るようになり、自分でも成長を感じる事が多くなりました。

留学を通して沢山交流をし、たくさん成長できたと思います。授業を通してだけでなく日常生活からも学ぶことが多かったです。そして、韓国に留学し、自分に自信を持つことも大切だと感じました。最初は自分に自信がありませんでしたが、自分から話しかけて交友関係を広げていくことで見える世界も変わり、自分の語学能力をより成長させることが出来ると思います。自分に自信を持つことは社会生活においても大切なことだと思います。また、今回留学をして自分の将来の目標についてもより明確になりました。今回の留学で学んだことを就職活動や社会生活に生かしていきたいです。

留学先	韓国・韓国カトリック大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（カトリック大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■秋ターム（9月13日～11月23日）：</p> <p>■冬ターム（12月12日～2月17日）：KRW1,015,000</p> <p>■春ターム（3月6日～5月12日）：</p> <p>■夏ターム（6月19日～8月25日）：KRW1,015,000</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■秋学期（8月29日～12月16日）</p> <p>■春学期（3月2日～6月21日）</p> <p>→■現地学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： 含まれない</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数： 秋ターム：4人(日本) 冬ターム：2人(日本) 夏ターム：2人(台湾) 夏ターム：2人(台湾) ※事前のアンケートで人数と共に、日本人以外希望の旨を伝えなければ、日本人がルームメイトになる可能性が高い。</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 4人部屋6カ月：KRW1,182,300 2人部屋6カ月：KRW1,923,000</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 6か月で契約すれば滞在可能</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>日本でSIMフリー端末とSIMカードを購入</p> <p>→1カ月6000円のプランを購入して毎月延長申込・支払い</p> <p>※延長申込忘れに注意。心配な場合は1年契約の商品購入を推奨。データ通信使い放題なため不自由なくインターネット利用可能。</p>

	<p>※Wi-Fi 利用可能な地下鉄の駅やカフェもあるが、ないところも多いため、インターネットをよく使う人や地図の利用をしたい人は使い放題を推奨。</p> <p>電話番号あり(電話認証/本人確認は申請すれば可能)</p> <p>※韓国サイトで買い物する際(映画チケット予約、ネイバーサイト等)や韓国の口座を使って送金時、またはカカオペイ作成の際、電話番号認証(利用者の氏名確認)があり、これはSIMによって可能なものと申請が必要なものがあるので購入の際に確認が必要。</p>
<p>現地での資金調達は どうしていたか</p>	<p>現金(寮費、学費、屋台での支払いなどで使用)</p> <p>→海外でも使用可能なVISAデビットカードを使って、日本の口座から引き下ろしていた。</p> <p>カード払い(お店、日本のサイトでの買い物)</p> <p>→海外でも利用可能なVISAクレジットカードを利用。</p> <p>※利用可能額の事前の確認が必要。</p> <p>※韓国ではカードを使う機会が多いため、カードの電子部分の破損に注意。また、カードの種類が使えないお店もまれにあるため、1年留学の場合や余裕があれば2枚ほど持っていくのもよい。</p> <p>韓国の口座・カード(韓国のサイトでの買い物、送金)</p> <p>→学校の敷地内にある銀行で簡単に口座を開設可能。韓国では支払いの際に代表で誰かがカードで払い、その後代表者の口座に送金する文化があるので韓国の口座があると便利である。</p> <p>※口座作成の際、外国人登録証が必要。</p>
<p>現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと</p>	<p>日本のお菓子や食べ物をみんなに配ると喜んでもらえるので、持っていくと良い。</p> <p>私は夏に出発したので冬服を全く持っていかなかったのだが、冬服は少し高いため、少し持っていけば良かったと思う。</p> <p>日常で使うものはほとんどすべて現地で揃うため多めに持っていくと荷物になってしまう場合もあるので注意。</p>
<p>留学を考えている後輩へ伝えたいこと</p>	<p>少しでも留学に興味があれば絶対に行くことをお勧めします。</p> <p>最初は韓国語に対する不安や韓国の生活になじめるのか心配だと思いますが、みなさん優しいので、自信を持って積極的に話しかけると喜んでもらえますし、あちらからも話かけてもらえるようになります。しかしやはり留学前にできる限り韓国語を</p>

勉強して行った方が話の内容もより広がるので、事前にたくさん勉強した方がいいと思います。授業で他の人に話しかけたり、サークルに入ったりするなど、自分が思っている以上に積極的に取り組むことで、より多くの韓国人と仲良くなることができ、たくさん韓国語で話すことで、韓国語も自然と上達します。

留学最終報告書：大きな成長を得た1年間の留学

私は、1年間の韓国留学で経験したこととそれによって得た自分の成長を紹介します。みなさんもこれを読んで、留学に対する興味や勇気を持ってくださったら嬉しいです。

まず、周りの人たちの暖かさによって成長できた積極性についてです。私は元々自分に自信がなかったので、自分から積極的に人に話しかけるのが苦手だったのですが、私はせっかく留学に来たのだから現地の韓国人とたくさんお話ししたい、という思いで頑張って声を掛けるようにしました。すると、みんな明るく迎え入れてくれて、私や日本についてたくさん質問したり、道ですれ違った時に声を掛けてくれたりしました。特に鮮明に覚えているのが、私が勇気を出してサークルの体験にいったとき、討論する時間があってとても難しかったので加入をやめようかと考えていたのですが、帰り際に後ろから私の名前を呼んでくれて、難しくないかと心配してくれたりご飯に誘ってくれたりもしました。日本人一人で、サークル活動に対して不安な思いしかなかった私でしたが、その子のおかげで加入を決めて、おかげでそのサークルでたくさんの韓国人の友達ができました。このような、暖かい人たちのおかげもあって、自分に自信を持てるようになり、その後は積極的に自分から話しかけたり、遊びに行ったりするようになりました。この経験のおかげで、日本に帰国後は日本語を教えるボランティア活動や韓国語の大会に積極的に参加するようになりました。また、授業でのグループ活動でも積極的に声を掛けて活動が進むように心がけることができ、積極性がリーダーシップの成長にもつながった気がします。

次に創造性です。最近は何の会社も創造性を求められる世の中ですが、私は韓国留学によって日本では経験できないことや様々な国籍や年齢の人と会話をする中でいろんな考え方を学び、問題解決に向けた新しい考えを思いついたり、探求したりする力がついたと思います。日本で生活していた時は、毎日家族と同年の友人たちと会話するばかりで視野が狭く客観的に物事を考える力がありませんでした。しかし、韓国留学では近くに頼れる家族がいないためすべて自分で解決する必要があるため自分で視野を広げているような解決策を考えて生活するようになりました。また、特に語学堂では国際関係が豊かだったので、国ごとにいろんな制度や文化、考え方があり刺激を受けました。私よりも年齢がかなり上の方もいて、会社を辞めて留学に来た方やいろんな国を回っている方などいろんな生き方があることを知り、世の中に正解はないのだと、将来の進路に不安を持っていた私に希望を与えてくれました。このような様々な人や考え方に出会ったおかげで、上でも述べた授業のグループワークの時には周りの人たちが思いつかないようなことを考え付いたり、アルバイトで困っている人がいたときに解決策を考えたりと、留学前の自分にとっては苦手であった創造力を得ることができました。

最後に、韓国語の上達です。正直韓国留学に行ったから、韓国語が上達するのは当たり前だろうと考える人が多いと思います。確かに周りで聞こえる言語がすべて韓国語なので聞き取りの力は勝手に伸びるかもしれません。しかし、その他は留学先での自分の努力によって成長の幅が大きく変わります。最初に述べたように、私は積極的に韓国人やその他の国の人と韓国語で会話するようにしていたので、相手がよく使う単語や文法を覚えて、それをうまくアウトプットするようにし

ていました。そうすることで、ただ覚えるだけでなく自分のものにしていくことができます。最初は頭の中で日本語を韓国語に訳してから話していたので、話始めるのに時間がかかったり多くのことを相手に伝えることができなかつたりしたのですが、日常的に韓国語を話していることで、ある時には頭の中に日本語よりも韓国語が先に出てくることもありました。また、語学堂のプレゼンテーションの時間には、初めの頃はもちろん原稿を日本語でも韓国語でも全部準備してそれをひたすら暗記していたのですが、最後の方になると大まかな内容だけを考えておいて、文章はその場で韓国語で考えながら気楽に発表することができるようになりました。たった1年ですが、たくさんアウトプットする機会を作ることで、韓国語の上達を実感することができました。また、韓国留学中に受けた TOPIK の試験では6級を取得し、先日行われた韓国語の弁論大会では無事大賞を受賞することができ、目に見える成果も得ることができました。

このように、私は1年間の韓国留学で学力の分野だけでなく考え方や性格に関しての成長を得ることができました。現在も韓国で出会った友人や先生方とは連絡を取っていて近状報告をしたり、韓国語を練習したりするなど、素敵な人たちに囲まれて日々過ごしています。留学前は自分の進路について明確に目標を持っていませんでしたが、現在は日本語教育関係の仕事も視野に入れ、勉強に取り組んでいます。みなさんも、留学を通してたくさんの素敵な出会いや成長を得られることを願います。

留学先	韓国・韓国カトリック大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（カトリック大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■春ターム（3月上旬～5月上旬）： ■秋ターム（9月上旬～12月上旬）： ■冬ターム（12月上旬～2月中旬）：1,015,000 ウォン</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■春学期（3月上旬～6月下旬） ■秋学期（9月上旬～12月上旬） →■現地学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： 寮にはキッチンがなく、自分たちで調達しなければいけなかったため食事代は含まれていなかった。主に外食やコンビニのご飯、出前などで賄っていた。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数： 2人部屋で日本人1人</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 半年間の水道光熱費が含まれた約25万円を入寮してから一週間の間に口座送金した。</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 夏休みと冬休み共に寮に滞在することができるが、冬の語学堂が寮の退寮日より長くあるため私は約10日間ホテルに滞在して学校に通っていた。</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	日本で aah! education という eSIM を携帯にダウンロードして使用していた。30日で5900円と他社に比べて料金は少し高めだったが、その分問題なく使うことができた。
現地での資金調達はどのようにしていたか	毎月決まった金額を家族にデビットカードを通して送金してもらっていた。そしてデビットカードから韓国で開設した口座に移し替えて支払いをしていた。こまめに引き出すとその度に手数料がかかるため、一度にまとめて引き出すことが多かった。足りない場合はクレジットカードで対応した。

現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	韓国に来た最初は薬を買う事が難しいので、困る事が多かった。予め薬をいくつか持って行った方が良いと思う。
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	私は単語を理解している程度で留学に行きましたが、それくらいの知識でも留学生生活を不自由なく送ることができました。生活していて困った時は同じ寮に日本人留学生が多かったのでお互いに支え合っていました。留学に来た人みんな始めは1人なので恐れず積極的に話しかけることも留学を楽しむ秘訣のひとつだと思います。そして、予め韓国語を勉強しておくことも大切ですが、現地で直接学ぶことによって語学への関心が一層強まったと感じます。なので、無理に知識を詰め込もうとせず気楽に自分ができる範囲内で学んでおけば良いと思います。また、韓国の学校でしか体験することのできないイベントも沢山あるので気になっている人や関心がある人は留学に行くべきだと思います。

留学最終報告書

私は 2023 年の 2 月下旬から 1 年間韓国留学をしていました。大学の授業に加えて、語学堂は春と秋、冬タームの計 3 つを受けました。語学堂のテストは大きく分けて発表と筆記、リスニング、スピーキング計 4 つのテストが中間期末にありました。発表は文章とパワーポイントを韓国語で作成して、暗記しなければいけなかったので日本でパワーポイントを作成する機会がほとんど無かった私にとってはとても難しかったです。しかし、回数を重ねていくうちに作り方も慣れていき、スムーズに作成する事ができるようになりました。スピーキングテストは、語学堂の先生と一対一で約 10 分間の間で指定された文章を読む、学んだ文法を使って質問に答える、予め言われていた質問を 10 文以上で答えるというものでした。私は特に最後の質問が大変だったと思います。全部で 4 つ質問が出されていてその中のどれを聞かれるのかは当日にならないと分からないため、全部の質問の答えを準備する必要がありました。質問は自分の国のことわざと韓国のことわざの比較や、尊敬している人を紹介するなどでした。何が出るか分からず、その答えも韓国語で覚えていかなければならなかったので時には上手く結果が出せない部分もありましたが、自分の実力を発揮して 3 学期頑張ることができたと思います。そして、韓国で TOPIK を受験しました。留学する前に一度受けて、その時は 2 級でした。今回は 3 級以上を目標に勉強しました。過去問を解き傾向をおさえて試験に挑み、4 級を取得する事ができました。日本にいたときよりも確実に成長していることを直接実感する事ができました。また、大学の授業は二学期制で分かれていて、春学期は日本語学中心の授業を取り日本語を学んでいる韓国人学生と交流を深めました。日本語作文という授業では、韓国人の学生と 4~5 人でグループを組んでテーマに沿った作文を韓国人学生が日本語で書いて、私はその添削をしていました。日本語特有な表現もあり、韓国語だどういう意味になるのか聞かれた時はどう説明したら良いのか困る時もありましたが、韓国人の方々が自分に韓国語を教えてくれたように自分もわかりやすく日本語を教えるように努力しました。次に日本語会話という授業では、授業の内容自体は全て日本語で行い、テーマを先生が決めて限りある時間の中で日本語の会話をする授業でした。韓国人の人たちは私が思っていたよりも会話が上手くスラスラ話ができる人が多く、授業を受けていて自分も韓国語をスラスラ話せるように頑張ろうという気持ちになりました。

そして、一番自分が成長し、身になったと感じている体験はバディプログラムだと思います。バディプログラムは外国人留学生と韓国人学生がランダムでペアを組むプログラムです。私は同い年の女性とバディになりました。彼女は日本語の授業を受講しているということで、日本語や日本の文化に興味があったそうです。会話は主に韓国語で話していましたが、私が分からない韓国語があったら分かるように教えてくれてとてもありがたかったことを覚えています。また、今の若者が使う流行語なども教えてくれました。10 月の後半にはバディとそのバディの友達とインドネシアから来た留学生と 4 人でソウルから離れた京畿道のパジュにまで車で行きました。パジュは学校からもソウルからも離れていて、私は今まで一度も行ったことがありませんでした。車で向かっている道中の景色が美しく、雰囲気がとても良かったです。パジュでも人気があるカフェとパン屋さん

に行き、日常のことから国ごとの挨拶、マナーの違いについて2、3 時間ほど夢中になって話していました。また、バディと私はお互い韓国のアイドルが好きだったことから、バディのおかげで交友関係が広がり、多くの韓国人の友人ができました。そして、韓国語を使う機会も語学堂や授業以外の日常生活で格段に増えることになりました。普段の生活で韓国語を使う機会が増えたことは、留學生活の中で韓国語の成長にとっても影響したことだと感じています。

今回の韓国留學では、韓国の言葉や文化について多くの事を学ぶ事ができました。私にとっては初めての親元を離れる機会であり、留學する前はとても不安でした。しかし、留學先では同じ寮に住む日本人留學生と不安な時には支え合い、励まし合うことで毎日楽しく生活する事ができました。また、大学の韓国人學生には日常的な会話をしている中で韓国のことを教えていただき、逆に日本にも興味を持ってもらえる機会となりました。帰国して約1ヶ月が経とうとしていますが、今でも韓国でできた友達と連絡を取っています。今回の留學で学んできたことを、これからの自分の将来に繋げていきたいと考えています。

留学先	韓国・韓国カトリック大学校
留学期間（半年/1年）	半年
留学開始時の学年	3年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（カトリック大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■春ターム（3月上旬～5月下旬）</p> <p>■夏ターム（6月下旬～8月下旬：約12万円）</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■春学期（3月上旬～6月下旬）</p> <p>→■現地学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： いいえ。共有キッチンがあるが、予約制で使える人数が限られているため利用しませんでした。そのため、外食が中心でした。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：3人（台湾、日本）</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額：月額ではなく、4か月又は6か月を選んで支払います。私は3人部屋（6か月）で、約16万円でした。</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 事前に申請すれば可能でした。</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入</p> <p>→私は日本で使っていたスマホを韓国に持っていき、SIMカードだけ現地で購入しました。データ通信料無制限のプランで初月は7000円、翌月からは約3600円でした。</p>
現地での資金調達は どうしていたか	<p>基本は日本のクレジットカードで支払っていました。韓国の口座開設後は、韓国のカードで支払うことも多くなり、必要な時にVISAのデビットカードに送金してもらい、現地で引き下ろして韓国の口座に移していました。</p>

現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	薬等、自分の体に合ったものを持っていくと安心だと思います。それ以外は特にありません。必要なものは大抵現地で揃いました。
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	会話など、基本の過程はこなせる状態で行くのが一番いいなと思いました。ある程度自分の意思を伝えられるくらい勉強してからいくと、友達との意思疎通もしやすくなり、会話をしながら韓国語を学ぶのが楽しく感じました。会話をしながら間違っただとしても、現地で仲良くなった友達が優しく教えてくれるので、怖がらずに話すことが大事だと思います。意思疎通の部分で理解できない部分があると、それがどんどんストレスになってしまうこともあると思いますが、分からなくても諦めずに話を聞いて、理解するまで何度も質問するのがいいと思います。

留学最終報告書

私は交換留学生としてカトリック大学で半年間留学をしました。留学をして学んだことは3つあります。

一つ目は積極性です。日本語を使わずに韓国語で生活するため、間違えることは当たり前で、失敗しても何度も挑戦すればいいのだという気持ちでいることが大事だと思いました。始めは間違えることに抵抗がありましたが、友達に「間違えてもいいんだよ。一生懸命伝えようとする人を馬鹿にする人なんていないよ。だから大丈夫だよ。」と言われて、間違うことに対して落ち込まず、失敗しながらその都度覚えていけばいいのだと考えられるようになりました。自分から積極的に韓国語で会話して、間違いを学びに変えていくことが大事だと思いました。

二つ目は責任感です。ただの留学生として留学をしているのではなく、一人の日本人留学生として留学をしているという責任感と自覚を持つことが大事だと思いました。なぜなら、自分の言動が相手に与える一つの日本人のイメージになってしまうからです。そのため、言動に責任を持たなければならないと思いました。特にそれは日本語の授業で感じました。正規学生に混ざって授業を受けていると、何度も日本の文化について聞かれることがありました。自分が間違った言葉で伝えてしまったら、間違った情報などがそのまま相手に伝わってしまうので、常に日本人留学生としての責任と自覚を持たなければならないと感じました。

三つ目は適応能力です。留学を通して、その国の文化に馴染もうとする力が大切だと強く感じました。常に相手の文化を尊重することが大事で、韓国はこうなのだという固定概念は捨て、自分が感じたありのままを受け入れることが大切なのだと思います。留学をして、視野を広く持つことができるようになったと思います。日本で当たり前と思っていたことが、韓国ではあたりまえではなかったとき、最初は戸惑いを感じていましたが、生活しながら、それが一つの文化なのだ素直に受け入れられるようになりました。文化を尊重して受け入れることで、もっと韓国人の友達と仲が深まり意思疎通がしやすくなりました。

今回の留学を通して、立ち止まりそうになっても諦めずに挑戦する力が身に付きました。毎日予習復習をし、単語を覚えて会話の中で積極的に使ったり、授業で学んだ文法を使って会話をしたり、自分が日々積み重ねていく小さな努力が全部繋がっていくので、自分で機会を逃さないように挑戦するようにしていました。学んでいく中で立ち止まりそうになっても最後まで伝えようとする姿勢が大事で、これが後から自分の成果となって表れると信じて、立ち止まりそうになっても諦めずに挑戦できるようになりました。

留学先	韓国・誠信女子大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 （誠信女子大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■春ターム（3月13日～5月22日）： 教科書代の7000円のみ。</p> <p>■夏ターム（6月12日～8月21日）： 約7万5000円（教科書含）</p> <p>■秋ターム（9月11日～11月24日）：春ターム同様。</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■春学期（3月上旬～6月下旬）</p> <p>■秋学期（9月上旬～12月下旬）</p> <p>→■現地学生メインの授業</p> <p>■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： 含まれない。部屋にはキッチンがあるため自炊可能。 部屋の外には階ごとに1台ずつ共同の電子レンジとウォーターサーバーがあった。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数： 2人部屋で日本人1人。</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 1学期分で約18万円。1か月約4.5万円。（水道光熱費込み） 学校のポータルサイトから寮の申請をして明細が来たら銀行に行き寮費の振り込みをする。</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 滞在できる。 春学期、秋学期同様に寮の申請をして明細が送られてきたら銀行へ行き指定された口座に振り込む。 長期休み中の寮費は約7万円。</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入</p> <p>→金額など詳細：私の場合は既に誠信女子大学に留学されていた先輩の方に教えていただいた韓国専用SIMを留学前に事前に1年分申し込み使用していた。</p> <p>現地で携帯会社に行って契約またはSIMを購入するのは手間がかかってしまうため事前に韓国滞在分のSIMカードを契約していくのが良いと思う。</p> <p>使用したSIM→aah! education 韓国用SIM「最強SIM30」</p> <p>1年分で7万1500円。</p>

<p>現地での資金調達は どうしていたか</p>	<p>VISA のデビットカードにお金を振り込んでもらいそこから必要な分を韓国で作った口座に移していた。 生活をしている中で極稀に日本で発行したクレジットカードやデビットカードが使用できないということがあった。またネットショッピングをする時や送金をするときに韓国で作った口座を使うためある程度の額を韓国の口座に移しておく必要があった。 私はデビットカードにお金を振り込んでもらっていたが wise というアプリを使うと韓国の口座に直接お金を振り込んでもらうことができ、わざわざ銀行に行ってお金を移す手間が省けるためそちらを使用するのも良いと思う。</p>
<p>現地で困ったので日本 で準備した方が良かったこと</p>	<p>私は特になかったです。基本的に現地で揃えることができます。 ただし薬などは何かあった時のためにある程度準備して持っていくのが良いと思います。誠信女子大の周辺は店等も多く、日用品などは近くのダイソーでほとんど揃えることができます。近くにマートや飲食店もあるので食料や食事に関する心配もあまりしなくて大丈夫だと思います。</p>
<p>留学を考えている後輩 へ伝えたいこと</p>	<p>在学中に留学を視野へ入れている方がいれば是非留学する事をお勧めします。 私も留学前は他の国でうまくやっていけるのか、自分の語学レベルでも生活していけるのかとても心配していました。 ですが生活をしていく中で徐々に新しい環境にも慣れて自分自身の適応能力を高めることができたと思います。また言語に関しては語学堂の授業や日常生活を通して必ずレベルアップする事ができるため心配しなくて大丈夫です。私は留学をする前は韓国語をある程度話せる状態で留学するべきだと考えていました。しかし実際に留学してみると現地には韓国語を全く知らない状態で留学に来たという留学生も沢山いました。ですがその子達も語学堂や日常生活を通じて韓国語で会話をできるくらいになったと言っていました。だからもし言語の面で心配があって迷っているというのであれば是非勇気を出して挑戦してみたいです。 大変な事があってもお互いに切磋琢磨し合い助け合える仲間が沢山いるので心配しなくて大丈夫です。約 1 年間の留学生活を振り返ってみてももちろん簡単なことばかりではありませんでしたが、それ以上に楽しい事や今後経験することのできない貴重な経験を沢山する事ができ、一生忘れられない思い出を沢山作る事が出来ました。 留学をすればコミュニケーション力や異文化理解力また適応能力など様々な力を得る事が出来ます。私は約 1 年留学をして大切な仲間にも出会う事ができ沢山の経験を通じて自分自身がすごく成長できたため、留学をして本当に良かったと感じています。 だから後輩の皆さんにも今日の前にあるチャンスを是非掴んでみて欲しいなと思います。</p>

留学最終報告書

私は昨年2月から約1年間韓国にある誠信女子大学に留学をしました。約1年間の留学生生活を振り返ってみて大変なことも沢山ありましたが多くの経験をする中で自分自身の成長を感じることができ、また大切な仲間にも出会うことができ沢山の思い出を作ることができました。約1年間の留学生生活を通して自分自身が成長したと感じた点が2つあります。

1つ目は語学力を向上させることができたという点です。私は留学前から韓国語の授業を受けながら韓国語の自主学習もしていたため、自分自身はある程度韓国語ができると思い込んでいました。ですがいざ実際に現地に行ってみると自分でも驚くほど相手の言葉を理解することができずとても戸惑いました。また相手の言葉を理解できないだけでなく、うまく応答をすることもできないような状態でした。最初のころはその現状にとってもショックを受けて自信を失ったのを覚えています。1人で外出をするのも不安なほどでした。そんな中で語学堂の授業が開始しました。語学堂は授業開始前に事前にレベル分けテストが実施され自分のレベルにあったクラスで授業を受けることができます。私は3級からのスタートでしたが先生方もとても親切で優しくクラスメートも自分と同じくらいのレベルであったため、焦らず楽しく授業を受けることができました。授業を受けながら感じたのは思ったよりも基礎がしっかりしていないということとまだ自分が知らない単語や文法が沢山あるということです。私は上ならなるべく上の級からスタートをしたいと思っていましたがその時にその感情は一切なくなり、もっと基礎的な部分を安定させるべきだと思ふようになりました。それからは3級のクラスの授業をしっかり受け、日常の中でもなるべく使用するように心がけました。また韓国人の友人と会うときに習った韓国語を積極的に使い、分からないことは進んで聞くようにしました。そして4級、5級と級を重ねていくうちに日常生活をする中では困らないくらい自分の語学力が向上しているのを感じることができとてもうれしい気持ちになり達成感を感じることができました。

2つ目は異文化理解力の向上と自分自身の視野を広げることができたという点です。私は元々考え方が狭く頭が固い部分がありました。親にももう少し視野を広げて考えられるようになった方が良いと言われることも多々ありました。そんな私ですが留学をしてみて様々な国の人と交流し、ほかの国の文化を学ぶ中で異文化理解力だけではなく視野がとても広がったと感じました。例えば語学堂の中で出会った様々な国の友人と自分の国の文化を紹介し合い、自分の国の考え方や価値観を交流する中で自分の中には全くなかった考えや価値観を持った人が沢山いて最初のころは不思議で理解できないと思うこともありました。しかし、いつしかそれがすごく面白く興味深いと思うようになりました。そして何度もそういう経験をする中で自分もこういう風に考えてみようああいう風に考えてみようという風に考える機会も増えました。以前は視野が狭かったこともあり偏った考え方しかできずネガティブにしか考えられないこともよくありましたが、今では視野が広

がったおかげで何か起きてしまった時にもこれでダメならこうしてみようと柔軟に解決ができるようになったと思います。そのため何事も焦らず冷静に判断できるようにもなりました。

今思い返してみるとこんなにも充実していて濃い1年は私の中では初めてのことでした。この1年を振り返ると苦しいことから楽しいことが本当に数多くありましたが今思えば全て貴重で大切な経験でした。そしてその経験があったからこそ1年前の自分とは比べ物にならないくらい色々な面で私自身が成長できたのだと思います。留学前は不安なことも沢山ありましたが現地で人の温かさに触れたり新しいことを学んだり大切な仲間に出会うことができたりととても貴重な経験をすることができました。留学を終えて今一番思うことは勇気を出して留学を決心して本当によかったということです。

韓国留学を通じて培った多くのものを今後様々なところで生かしていきたいと思います。

留学先	韓国・誠信女子大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 （誠信女子大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■春ターム（3月上旬～5月下旬）：</p> <p>■夏ターム（6月上旬～8月下旬）：750,000ウォン</p> <p>■秋ターム（9月上旬～11月下旬）：</p> <p>■冬ターム（12月上旬～2月下旬）：750,000ウォン</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■春学期（3月上旬～6月上旬）</p> <p>■秋学期（9月上旬～12月上旬）</p> <p>→■現地学生メインの授業</p> <p>■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか：</p> <p>含まれない。寮の部屋の中にキッチンがあるので、主にそこで簡単な料理をして食べていた。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：</p> <p>日本人1人</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額：</p> <p>約4ヶ月で1,850,000ウォン</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか：</p> <p>春～秋学期の間は可能であるが、冬学期は滞在出来なかったため新しく滞在先を探す必要があった。</p>
スマホ・携帯電話は どうしていたか	<p>■日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入</p> <p>→金額など詳細：aah!education という韓国留学専門の留学会社が提供しているSIMカードを購入した。1年契約で約70,000円（一ヶ月5,900円）</p>

<p>現地での資金調達は どうしていたか</p>	<p>日本で発行した VISA のクレジットカードをそのまま使うか、現金が必要な際は日本の口座（楽天銀行）からデビットカードで韓国の atm でウォンで引き出していた。</p> <p>また、wise というサービスを使うと比較的高いレートと少ない手数料で日本の口座から韓国の口座に海外送金ができるので便利だった。</p> <p>円安の関係で外貨両替や手数料についてどの方法がより負担が少ないか常に試行錯誤していた。</p>
<p>現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと</p>	<p>困ったことはほぼないが、日本の薬やのど飴（龍角散など）はあると良いと思う。どうしても海外の薬には少し抵抗があるのと、のど飴に関しては韓国のもは効き目があるのがあまり無いと感じた。</p> <p>また、電子レンジでお米が炊ける容器もとても便利だった。小さな炊飯器が売っていなかったため、電子レンジで調理できるパックご飯を食べていたが、値段が高い上あまり美味しくなかった。一時帰国の時に電子レンジでお米が炊ける容器を見つけて韓国に持って行ったが、とても便利で早く買えばよかったと後悔した。</p>
<p>留学を考えている後輩へ伝えたいこと</p>	<p>留学する上で大きな心配の一つが金銭面だと思います。私も実際とても心配でした。しかし仙台白百合女子大学なら交換留学という形で行くことができるので学費がプラスでかからない上、JASSO の奨学金制度を利用すれば月 7 万円の給付を受けることができます。また、入学前の方であればスカラシップ制度で半分の学費で通うことも可能です。このような制度を存分に利用したり、アルバイトでお金を貯めたり、自分の頑張り次第でどうにでもなるということをお伝えしたいです。もちろん、留学は大きな決断が必要になりますし自分の力だけでは到底行けるものではありません。せっかく一度きりの人生です。自分の好奇心や向上心を大切にしてぜひ挑戦してみてください。</p>

留学最終報告書：一年間の留学を終えて

私が今回、一年間留学した誠信女子大学は韓国の首都ソウル市城北区に位置している大学だ。この学校を選んだ理由としては、本学と同じ女子大学であることが挙げられる。韓国のフェミニズム文化に興味があり、女子大学なら何か学べるのではないかと思った。また、韓国の友人から、誠信女子大学は韓国でも有名な女子大学の一つと聞いていたため、現地学生から良い刺激を受けられそうだったのも理由の一つである。

一年の留学というとても長いような気がするが、実際にはあっという間の一年だった。これまで実家暮らしであった私にとって、異国での生活は簡単なものではなかった。全てが初めての経験ばかりで、留学開始当初は立ち止まりそうになったり、思い悩んだことも多かった。しかし、一緒に留学に来たルームメイトの友達や他の学校から来た留学生達と支え合いながら生活し、韓国の生活に適應することができた。また、語学的な面では、韓国語の実力が不十分であった当初は、会話が思うように出来なかったり、一般学生向けの授業についていくのに苦労した。出来ない自分が嫌で、焦りもあったため、毎日夜まで学校に残って勉強し、韓国人の友人に積極的に会って会話をするなどした結果、目標の一つである TOPIK6級を取得し、韓国語での意思疎通も難なく出来るようになった。ある意味、人生の中で一番と言って良いほど努力した一年であると共に、自分の人生においてとても意味のある一年となったと思う。毎日が新鮮で、沢山の学びがあった。韓国という国に住み、文化に直接触れることによってその国の魅力を感じただけではなく、日本を外から見ることによって自国の良さを再発見することもできた。

そして、今回の留学で特に強く感じたのは、周りの人々の温かさと感謝の気持ちである。この留学は沢山の人が助けてくれたおかげで達成できたものであると言っても過言ではない。現地では、友人や先生など沢山の出会いがあった。皆がとても親切で、いつも私を気遣ってくれる方ばかりだった。家族と離れ、寂しさを感じることも少なくなかったが、友人達のおかげで楽しく過ごすことができた。また、この留学は背中を押してくれた家族がいてこそ叶ったものである。初めて家族と離れて暮らし、どれだけ家族の存在が大きく有難いものであるか身をもって感じる事が出来た。これからより一層家族を大事にし、沢山の恩返しをしていきたいと強く感じた。留学を通して生まれた沢山のご縁にも感謝し、これからも一つひとつ大切にしていきたい。

自分にとってこの留学の最大の目的は、外国という慣れない土地で暮らし、挫折や苦難を乗り越える過程で人間性を養うことであった。主観的にはなかなか分からないことではあるが、今回の留学を通し、少しでも自分という人間が成長出来ていればと思う。留学を通し学んだことを一つひとつ大切に、自分の自信に変え、より満足のいく人間になれるようにこれからも日々努力を続けていきたい。

留学先	韓国・誠信女子大学校
留学期間（半年/1年）	半年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 （誠信女子大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■秋ターム（9月11日～12月1日）</p> <p>■冬ターム（12月11日～2月23日）：750,000W</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■秋学期（9月6日～12月28日）</p> <p>→■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか：含まれない</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：日本人 1人</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額：約4～5万円</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか：滞在可能</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入</p> <p>→金額など詳細：30日間で5900円を毎月自動更新</p>
現地での資金調達は どうしていたか	<p>現金で必要な資金が足りなくなる度に海外クレジットカード対応のATMでお金をおろしていました。</p>
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	<p>私は韓国に渡航する際、現金50万ウォン（+海外クレジットカード）を持っていきましたが渡航後に現金振り込みを求められることが続き、日本から持参した現金50万ウォンでは足りませんでした。海外クレジットカードから必要な現金を引き落とすたびに手数料が高く取られてしまい非常に勿体無かったので現金は多く持っていけば持っていくほど良いと感じました。</p> <p>（渡航直後は外国人登録証がないため現地でクレジットカードを発行することが出来ません。外国人登録証は渡航後約二か月後に発行されます。）</p>

留学を考えている後輩
へ伝えたいこと

留学中は自ら積極的に行動する力が必要になります。私自身、何に対しても基本的に消極的で自ら行動を起こすことが苦手でした。しかし留学に行けば私たちは当たり前外国人になるので、何もかもが分からないことだらけの環境になります。分からないことを分からないままにすると重要なことまで見逃してしまうので、留学へ行けば意識的に自ら進んで行動する力が身につきます。自分の苦手なことが一体何なのかを改めて見直し、チャレンジしていくことで自身の成長につながると感じました。皆さんが留学に行かれた際には失敗を恐れずに好奇心を常に持ちながら行動してほしいです。分からないことがあっても現地の方々も私たちが外国人ということを理解して親切に接してくれるはずですよ。

また、いろいろな国の友人を作ることをおすすめします。私は語学堂で同じクラスになったモンゴル人と親しくなり一緒に観光をしながら互いの国の文化について紹介し合ったり簡単な挨拶などを教えあいました。同じ言語を学ぶ仲間として助け合える部分も多いです。このような繋がりを大切に、ネイティブの韓国人ではないから…と言って交流する機会を逃さないでほしいです。

最後に、留学は家族や周りの人たちの協力があってこそできる経験なので留学に行かれた際には時間を無駄にせず、悔いのないような留学生活を送ってほしいです。

留学最終報告書

私は半年間という短い期間期間でしたが、韓国留学へ行ったことによって新たな視点から物事を見る力が身につきました。留学に行く前は韓国の文化についてインターネットで学んだ知識しかありませんでしたが、実際に韓国へ行き生活したことにより現地の人々の暮らしぶりやそこから見える日本との違いを肌で感じる事が出来ました。韓国にはあるけど日本にはない便利なものや、日本にはあるけど韓国にはないものなど、それぞれの国のアイディアで互いの国を補えるものが本当に多いなと考えられるようになりました。日本で生活していた時は考えたこともなかったのが新たな視点で物事を考えるようになったと感じます。

また、語学堂の授業ではモンゴル・ベトナム・中国・マレーシアのクラスメイトと一緒に授業を受けました。授業の一環にそれぞれの母国の伝統的な文化や観光地について紹介する機会があったのですが、自分の知らなかった国の文化を知ることが非常に面白く常にクラスメイトに対して好奇心を持ちながら学習できたと思います。自分の興味のある国だけではなく、クラスメイト達の出身国についてまんべんなく知ることが出来ましたが、自分も知らずに抱いていた偏見や先入観を改めて感じ、それをかみ砕いて理解することまでできました。私にとって語学堂で広がった他国の友人との関りはこれからも大切にしたいと感じています。

大学の授業では韓国の歴史と文化、世界的な社会問題について学びました。私が履修していた授業はすべて留学生のための授業だったので現地学生はいませんでした。授業毎に提起される社会問題についてそれぞれの国ではどのような認識がもたれているのかを話し合いました。そこで日本ではどうなのかと聞かれたときにすぐに答えられなかったことが何度かあり、自国についての理解をさらに深める必要があると考えるようになりました。ある日、日本語日文学科の集まりに参加し日本に興味のある韓国人学生たちと会話をしているときに日本人である私よりも日本のことに詳しい学生がいて驚いたことを覚えています。言語を学ぶ上で学びたい言語の文化や歴史について詳しくなることが重要だと考えさせられた瞬間でした。ただただ韓国語を語学という面で見えていなかったのが、語学を理解する上で歴史を学ぶという考えは私にとって非常に新しいものでした。韓国の学生たちは、私が韓国についての質問を投げかけるといつも質問の倍の回答をしてくれるのですごく助けになりました。私も日本語を学ぶ韓国の学生に、少しでも役に立つ日本の文化を教えるために改めて日本について勉強するきっかけが出来て以前よりも自国に興味を持つことが出来たのではないかと感じます。

これらのように留学中は多くの人と関わり、それぞれ個人の考えを理解するために様々な視点から物事を考えるようにしていました。理解しがたいことが起きたらすぐに質問をして自分とは違う考えや、他国の文化を新たに身に付けることが大切だと学びました。時々失敗してしまうことも

ありましたが一度しかない経験だと振り切ってすることが出来ました。留学期間を総合的に見ると何事にも柔軟性を持って対応する力が蓄えられた留学生活だったと感じます。帰国直前にも何度か壁にぶつかりましたが、自分なりに考えてうまく対応できたのではないかと思います。

半年という短い留学期間中に様々な人と交流しながら多くのことを経験し学ぶことが出来ました。日本に帰国した今も留学中の心構えを忘れずに生活したいと考えています。留学を支えてくれた周りの人への感謝も忘れません。語学の学習に終わりはないので、これからも目標を持ちながらこれまでに身に付けた新たな視野とともに韓国語の学習を続けていきます。